

## 議事録

会議名	第2回壱岐市総合計画審議会
日時	令和6年2月27日 13時30分～15時30分
場所	壱岐の島ホール 大会議室
参加者	別紙のとおり
内容	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般の傍聴並びに報道機関の取材及び撮影について了承を得た。</li> <li>• 審議会会長が欠席のため審議会規則に基づき会長職務代理が議事を進めることについて事務局より説明。</li> <li>• 委員16名中、代理出席を含め14名の出席。</li> </ul> <p>2. 挨拶(審議会会長職務代理:川崎委員)</p> <p>皆さんこんにちは。開会に当たりまして一言ごあいさつを申し上げます。本日は第2回壱岐市総合計画審議会を開催いたしましたところ、皆さまには大変お忙しい中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。前回の審議会では第4次総合計画の策定方針およびアンケート調査等についてご審議いただき、活発なご意見等を賜りました。厚くお礼を申し上げます。今回は本市の人口動態、地域経済の分析およびアンケート結果の概要のほか、現行計画に関するヒアリング調査や、壱岐市若手職員グループチームによる検討状況などについて報告を受けながら、分野別の重点課題の確認等を行ってまいりたいと思っております。委員の皆さんにつきましては、壱岐市発展のため各分野から活発なるご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。簡単ですが開会のあいさついたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3-1. 協議事項①</p> <p>以下の(1)～(6)について事務局より一括説明。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人口動態分析について</li> <li>(2) アンケート結果概要について</li> <li>(3) 現行計画の評価について</li> <li>(4) 若手職員グループ検討状況について</li> <li>(5) 地域経済動向分析について</li> <li>(6) ビックデータ分析について</li> </ol> <p>○質疑</p> <p><b>委員A</b></p> <p>本日の会議資料に示されたデータは壱岐市の現状を如実に表しているものだと思います。出生数が109人で死亡者数は約500人近くいるというのが壱岐の特性です。高校生が一度本土に出てみてそれから帰ってみたい、考えたいというのは、これは昔からです。私も子どもを育てて壱岐では就職先がないからということで島外に就職させましたが、今になって帰ってきてもらえないだろうかと相談しても、今から壱岐に戻っても地域の生活環境が分からないし、それによって地域の人と話ができないから戻れないと言われるのが現状です。後悔している</p>

親は私だけではないと思います。移住者の現実として島民の方が移住者を快く迎えてくれないという問題を聞いたことがあります。そのため、地域全体で島に移住される方、帰ってくる方を温かく迎えることが重要ではないかと考えます。

また、若い方々を壱岐に残すために、新規高校卒業者を1年間雇用すると24万円を事業所に、本人には10万円を助成するという制度がありますが、この取組みは素晴らしいものだと思います。この制度を活用して私たちも募集をかけて努力しているわけですが、社会福祉協議会では、新規高校卒業者を残すために雇用して給料を出すだけに留まらず、医療福祉専門学校において学費サポート制度を実施しています。2年間勉強していただいて島の介護業務関連に一定期間従事すると修学資金貸付の返還を免除するというものです。この制度利用者は少ないのが現状で、その理由は就職先が縛られてさらに2年間の勉強をしたくないというのがあります。

こういった他の地域と違うことをやっていかないことには若い方々は島に残ってくれないと思います。また、壱岐の各職場が新規高校卒業者を残すために賃上げが必要であると思います。壱岐の求人内容を見ますと、一般事務職で約14万円の給料となっています。これはいくら新人職員といっても、今日の物価高の中で生活できないと思います。壱岐の各企業が給料を少しでも上げて、行政はそれに援助するという制度をつくらなければ、若い人は残っていきません。

また、学校の統廃合の話が出ていますが、子どもにとってはいいでしょうけれども、そこに勤めている職員が減るため地域経済は必ず疲弊します。中学校は8校から4校に半減しましたが教職関連の方が100人減りました。アパートはがら空きになり、経済不況になったように地域が疲弊してしまいました。そのようなことは繰り返したくないので、どうすれば若い方々を残すことができるかということ市役所だけではなく事業所の方々も含めて島全体で考えることが必要ではないか、先決ではないかと考えます。

#### 事務局

貴重なご意見ありがとうございます。配布資料28ページに関連するデータがございます。高校生がどういう基準で就職先を決定するかというデータですが、やはり給料が高いことは重要という結果になりました。ただ、重要なポイントとして、上位2番目の自分の能力・専門性が活かせるというのが5年前と比較してかなり高くなっています。これは長崎市内でも同様ですが、働いて給料がもらえるだけでなく、いかに自分のやりたいこと、そしてキャリアアップができるのか、ということ求めているのが最近の若者の特徴であると思います。頂きましたご意見のとおり、給料のベースアップと魅力的な職場づくりを同時に行っていくことが重要であると改めて実感しました。ご意見ありがとうございます。

#### 委員B

本日の会議資料では、壱岐の数字や課題を整理しているためとても分かりやすいのですが、壱岐に来て本当に困っている方々に会ったことがありません。本審議会の出席メンバーで移住者は私と委員Cの2名と思いますが、東京から壱岐に来て6年目を迎えて実感するのは壱岐で暮らしている方のほうが楽しそうに満足そうに素敵な人生を送っているように見えます。

おそらく地元の方々に不満がないからだと思います。私も実際に住んでみて不満があるかという、公共交通機関の面しかありません。とても素敵な島だと思うので、もっと移住者が増えたらいいのにと真剣に思っています。ただ、地元の方々が壱岐の課題を感じてないのは改善しなければいけません。市職員の方々は常日頃から壱岐の将来を真剣に考えていると思うのですが、地域住民は今参加されている委員だけが瞬間的に課題を感じているだけなので、人口予測どおり2060年に島の人口が18,000人になると何に困るのかと地元の方々が本当に理解されているのかなというのが壱岐に住んでみての感想です。先ほど話に挙りましたが、私も高校生アンケート結果に関心がありまして、資料30ページで将来的に壱岐に戻りたいかどうかの結果がありますが、フリーアンサーで戻りたい理由というのは聞いていますか。

#### 事務局

フリーアンサーで戻りたいと思う理由については聞いておりません。

#### 委員B

将来的に壱岐に戻りたいと思う高校生が56.4%いることにすごく興味があります。前回の47.5%から56.4%まで上がっているところに大きなヒントがあると思います。彼ら彼女らに戻ってきてもらわないと壱岐市が将来立ち行かないのは分かるので、それならばなぜ戻りたいと思うか掘り下げていただければよかったですのではないかと思います。いい仕事があれば戻りたいと思うのは当たり前です。何しろ実家があるのですから。移住者の感想として、壱岐市に住んでいる大人の皆さんは現状に満足されていると思うので、子どもたちがまた戻ってきたいという理由に、壱岐の将来を考えていくためのヒントがあると思います。そこを深掘りできる方法を考えていただけたら素敵な未来が描けるのではないかなと思いました。

#### 会長代理

6年間住んでいただいたの感想を述べていただき、その中で高校生がなぜ戻りたいと思うのか、今後改めて調査等を実施してもらいたいと意見を頂戴しましたので、よろしく願いいたします。

#### 事務局

貴重なご意見ありがとうございました。おっしゃったとおり、高校生が戻りたい理由は本当に重要なポイントだと考えますので、ぜひこれからそのあたりの深掘りは行っていきたくと思います。1回は島外に就職したけど戻ってきたという方も実際にいらっしゃいますし、県では転入者と転出者にアンケートを取っておりまして、その結果の分析ができますので、戻った理由の深掘りはしていきたいと思います。

#### 会長代理

私から1つ感想をよろしいでしょうか。資料53ページのビッグデータの検索数ですが、同じ離島の五島と比較して壱岐は非常に少ないです。朝ドラ関連の効果があると思いますけれども、このあたりについて壱岐は頑張っていかなければいけないと思いました。

#### 委員D

質問が2点ありまして、1点目は資料30ページの高校生アンケートですが、将来的に沓岐に戻りたいと思う方々が増えているのは非常に喜ばしいことなのですが、前回では不明が11.8%であるのに対し今回は0.0%なのですが、前回アンケートでは分からないという設問があったのでしょうか。

#### 事務局

今回のアンケートで分からないという選択肢は設けていなかったと思いますが、事務局で確認いたします。

#### 委員D

2点目ですが、市民アンケート、市職員アンケート、事業所アンケート、高校生アンケートと傾向が分かりやすく計画策定の貴重な資料として活かせるものと思います。その中で、市職員の回答率が低いことに残念さを覚えるのですが、市職員の回答率の低い理由について教えてください。

#### 事務局

市職員アンケートですが、正規職員435名、会計年度任用職員501名の合計936名を対象にWebアンケートにて調査を実施しました。正規職員435名につきましてはほぼ全員から回収できたのですが、どうしても出先機関などでパソコンを直接見ることのできない会計年度任用職員は回収が低くなったので全体としては50%を下回りました。

#### 委員D

会計年度任用職員といっても市職員であるため、沓岐市の今後の道筋を決めていく総合計画に関するアンケートに対してはもう少し協力を促してもよかったのではないかと思います。今後、同様のアンケートがありましたら改善をお願いします。

#### 事務局

ご意見ありがとうございます。改善するよう努めてまいります。

#### 委員C

私から2点ありまして、1つ目は沓岐市には2030年のあるべき姿の実現に向けてSDGs未来都市という旗印がありますが、沓岐市民にとっては非常にありがたいと思っています。このような一体的に目標として掲げられている旗印がある自治体は他にはあまりないと思いますが、我々もSDGsを学びながら様々な取り組みを行っています。ただ、勉強会を行っても、子どもたちは熱心にSDGsを勉強するのですが、大人は勉強しないというのが現状にあるので、勉強会などを活用していきたいと思ったのが1点。

もう1点は、現行計画の審議委員としても関わらせていただいた立場として、資料に掲載の成果指標達成状況一覧を見ましたが、先日、市民の方と話をしたら、総合計画そのものを知ら

ないというのが現実でした。壱岐市の将来の方向性を決めている計画であるのに、市民には計画自体が伝わっていないのを理解したので、総合計画そのものを学べる場の提供が必要であると思います。そのような中、先日クロスポート武生水で市民有志による勉強会が開かれたので、これをぜひ継続して総合計画の実現可能性を高めていく、そういう取組みを市民全体でやっていければと思っています。

#### 事務局

私もその勉強会に少し参加させていただきましたが、非常に前向きな意見を頂戴しました。市民が主体的に勉強会を開いて今後の町づくりを考える場が生まれているのが本当にいいことだと思います。このような勉強会が増えていくことで、壱岐市の課題や取り組むべき事柄について意識が高まっていくのではないかと思います。

#### 委員E

先日、友人の息子さん結婚されるという報告を聞きまして祝福した際に、2人とも福岡に住んでいるのですが、お互い壱岐出身なので帰りがっているとのことでした。しかし、壱岐に戻ったら今の年収が確保できないので、親としては地元に戻ってきたらと後押しできないとのことで、結構そういうのをたくさん聞きますので、やはり雇用と給料の確保ができるような島づくりをしていかなければいけないと思います。

#### 事務局

これまでの総合計画においても、雇用の確保や所得上昇関連は事業として入ってきているものと思いますが、雇用関連は引き続き重点課題として取り組んでいきたいと考えております。

#### 委員C

委員Eの話に追加してですが、先日、私の友人が大卒初任給の話をしていたので見たところ、東京都が36万円、福岡県が28万円、長崎県が19万円ですので、壱岐に限ったことではなく県全体の問題だと私は捉えております。

#### 会長代理

現在、日本全国で賃上げというのが呼び掛けられていますが、人材確保の面からも重要になってくると思いますので、壱岐全体が賃上げムードになるようにやっていかなければいけないと思います。他にございませんでしょうか。

#### 委員F

今回詳しくまとめていただきありがとうございます。その中で、3つお伺いしたいのですが、資料25ページの重要度と満足度を軸にした表に例えば緊急性が見えてくるものがあったりするのかなということが1つ。2つ目は資料8ページの人口動態分析で五島市と対馬市は前回推計より大きく改善されていますが、壱岐が当該2市に足りないものは何かというのを伺いた

いのと同時に出生数の減少理由があれば教えていただきたいです。3つ目は現行計画の取組みが大まかにうまく達成できているのかどうか教えていただきたいです。なぜかという現行計画の大きな柱である「誰一人残さない協働のまちづくり」というのを達成できたかどうか把握したいからです。資料ではKPIや各種アンケートによって細分化されて目標達成の状況が示されているため全体が把握しにくく、事務局で分析されて何か印象なりございましたら教えてください。これだけは達成したいという想いがある大きな柱にしたと思うので、よろしく願います。

#### 事務局

1つ目の資料25ページに示しました満足度と重要度の軸のグラフについてですが、ご質問にあった緊急的な視点から申しますと縦軸を見ていただければと思います。行政に取り組んでほしいというのが重要度に出てきていますので、上にいけばいくほど市民がすぐにでも取り組んでもらいたいと思っている内容であります。2つ目の人口動態についてですが、2019年に五島市は合併後初めて社会増になりました。今年も社会増を達成したということで、離島自治体では珍しいということで話題になっております。これは大きなポイントが2点ございまして、1点目は移住、U・Iターン施策を非常に重視していることです。移住者同士でコミュニティが生まれており、それがまた人を呼ぶという好循環が生まれてきています。

2点目は、五島が朝ドラの舞台になった影響もありますが、いろいろなテレビ番組で特集されていることにより知名度を上げているというのも理由の一つであると思います。別件で日本全国を対象にしてアンケートを実施したのですが、五島が長崎県の離島であることを知ってるという人は7割いました。これはかなり高い数字であると思っております。知名度が人口動態に影響しているのはあるかと思っております。また、出生数についてはいろいろな要素があると思っております。例えば出産適齢期の女性の方々がどれくらい壱岐にいらっしゃるのかということ、そして若く出産をされた方にとって次の子をいかに生まれやすい環境を整備できているかという2つの大きな要因があると考えます。どの自治体も共通の課題であります。子育て環境をいかに整備できているかどうかだと考えます。

3点目の現行計画の大きな柱の達成についてですが、見方はいろいろあると思います。一番の見方としましては資料15ページにあります、住みやすさの評価は大きな評価基準になると思います。委員からご指摘ありました各種アンケートでも結構満足度は高いのではないかといい点ですが、結果が数字として表れているのが1つ物語っていると思います。現在の壱岐は住みやすいですかという設問で、どちらかといえば住みやすいというところを含めると約7割になりますが住みやすいと答えている方は25%となっておりここをいかに上げていくかは重要です。プラスマイナス3%は誤差と思われて結構ですが、ここをいかに上げていくかです。さらに経済的な指標については、大きな面で見ますと資料52ページにございます地域経済循環の数字が1つの成績表になってくると思います。

#### 委員B

今ご説明ありました資料52ページの地域経済循環の箇所地域住民所得の数字が掲載されています。注1とありましてそれが記されていないのですが、これはどういう観点で見たら

よろしいでしょうか。

**事務局**

注意書きを記しておらず申し訳ございません。これは1人あたりの課税対象所得の数字だと思います。

**委員B**

市役所で壱岐市の平均世帯年収の情報が出ていると思うのですが、おそらく平均で206万円だったかと。市役所の情報はいくらとなっていましたでしょうか。

**事務局**

令和5年度の市民全体の平均所得ですが約260万円となっております。

**委員B**

冒頭説明があった際に、この地域経済循環の中で労働生産性を上げていかなければいけない、支出も外に出てしまっていて改善しなければいけないという話は分かるのですが、この図式で先駆的な自治体はどこかありますか。労働生産性は全国平均が約962万円となっていますが、どの自治体も綺麗に循環できているようにはあまり考えられないので、どこか模範的な自治体を教えていただければと思います。

**事務局**

いくつかの自治体があると思いますが、委員がおっしゃったとおり地域経済循環は非常に難しい部分があります。一概にこれが全ていいというわけではないと思いますけれども、例えば北海道ニセコ町は、インバウンドによる消費が高まっています、外貨がどんどん入ってきています。それがさらに投資を呼んで企業も増えているという事例です。そのようにして外貨を稼いで、地域内でしっかりとお金を蓄えてそれを中で使える仕組みがある地域は稼ぐ力が強化されているいい事例です。一方で、例えばトヨタ自動車のお膝元の愛知県飛島村は生産額だけを見ると大きい数字になっていますが、企業本社が外にあることから必ずしも地域循環していない部分があります。いろいろな見方で壱岐にふさわしい地域づくりや経済モデルをどのようにつくるかという点は論点のポイントになると思っています。

**委員B**

観光施設の代表をさせていただいていますが、なるべく島内でお金を使ってもらいたいと思うのですが、やはり限界があつて半分ぐらいはどうしても外に出てしまいます。その部分をうまく抑え込んでいく方法を今後考えなければいけないと思っています。すごい勉強になりました。ありがとうございました。

**委員A**

資料でも人口について説明いただきましたが、壱岐に住んでいらっしゃる20代～30代で

独身の方が多くいらっしゃると思っています。その方々に出会いの場を提供して、結婚を考えるきっかけを創出する必要があると思います。結婚者数が増えれば子どもが増えて人口が増えて税収も増えるわけですから、それを市民に還元していくというような仕組みにしていける。島内に資源はあると思いますので、まずは出会いの場を提供するといった支援に重きを置いて、とにかく人口を増やすような施策を考えてもらいたいです。

#### 事務局

貴重なご意見ありがとうございます。県全体の傾向としましては男性の未婚の方が多く、女性の県外流出が非常に多くなっているのが県の社会問題となっていて、これをどう食い止めるか、県全体としてそういった傾向にあるというのが1点。さらに、最近の若い方々にとって結婚に対する意識は昔よりも大きく変わってきております。結婚したいという若者が少なくなってきた、そして婚活という言葉そのものが古い言葉になってきておまして、今はマッチングなどの緩いつながりを求める傾向にあったりするなど考え方が変わってきていますので、若い方々の意識に沿った形の社会を創出するという視点も重要であると思います。

### 3-2. 協議事項②

資料 54 ページの(7)課題分析について事務局より説明。

#### ○質疑

#### 委員F

課題分析は綺麗にまとまっていて参考になります。今後これを具体的に考える作業に移っていくと思いますが、その前に要望が2つあります。大きく話すともう少し視覚化して欲しいという要望なのですが、1つ目は先ほど説明いただきました資料 25 ページの重要度と満足度の表で、これをできれば緊急度と重要度というように縦軸と横軸で落とし込んでいただきたいです。

2つ目は、現行計画で大きな基本理念の「誰一人取り残さない。協働のまちづくり」があって、枝葉のように基本目標の6項目を定めていますが、今回示してもらった課題の関係性やどういうふうに絡まっているかということ、そして壱岐市として大きく目指すところはこれですというものを示していただきたいです。どこを切り取っても、壱岐市として最も大切に目指すところはここですというようなそういう目に見えるものがあれば、市民が行動するときもその部分は常に大切にしながら動くと思います。

示していただいた資料や課題分析、現行計画もそうですが、どれも大切にしながら実行に移すというように見えるので、もう少し優先順位を付けて、全体のどれを取ってもここは優先的にやっていくというようなものが出てきてもいいのかなと思いましたので、そのあたりを具体的に落として見せていただけるとありがたいと思いました。

#### 事務局

貴重なご意見をありがとうございます。1つ目の緊急性を可視化していくという部分は大変重要ですので、次回以降でしっかりフィードバックしたいと思います。資料 25 ページは縦軸と横軸で現行計画の重要度と満足度を一体的に示していますが、各分野で緊急的に取り組ま

ないといけないものはあると思います。例えば、重要度が低くて満足度が高い歴史文化資源の保全・活用分野は全体で見ると緊急度は低いかもしれませんが、当該分野の中でも緊急的にやらなければいけない部分はあると思いますので、全体の中での緊急度と各分野における緊急度といった2つの軸で考えていきたいと思ったのが1つです。

2つ目ですが、各分野で見るといわゆる縦割りに農業、観光、水産業とどれも重要に見えてくると思いますが、例えば、農業と観光を合わせてグリーンツーリズムを実施しよう、SDGsと学校教育を合わせてさらに推進しようなど、各分野を掛け算するような絡み方が多く出てくると思います。頂戴しました意見を参考にすると、縦割りだけではなくて複合的な要素が加わった重点プロジェクトや戦略プロジェクトと題して、壱岐の様々な分野を混ぜていってこれを市民全員でやっというようなプロジェクト的なものを打ち出していきたいと思いました。これについては、若手職員プロジェクトチームでもしっかり考えてまいりますので、次回でもご意見いただければと思います。

#### 委員B

資料2ページに人口ビジョンがありまして、2060年の壱岐市人口が18,000人と目標になっていますが、今の行政サービスをそのまま維持するために18,000人を目指さなければいけないのか、それとも人口相応に行政サービスは下がるけれども比較的豊かに生活していけるのかというのは、どちらでしょうか。とりあえず、2060年に18,000人となっても今と同じ行政サービスを享受できると考えてよろしいのでしょうか。

#### 事務局

様々な行政サービスを維持する最低ラインが18,000人と理解していただければと思います。とはいえ、人口が18,000人になって同じように経済規模が縮小するかというと決してそうではございません。地域経済循環の図で示したように、地域の稼ぐ力を上げていけば今の所得よりも高くなる可能性はありますので、そういう見方で問題ないと考えます。

#### 委員B

今の壱岐市の予算規模はどれくらいでしょうか。

#### 事務局

予算規模は約250億円です。

#### 委員B

人口が減れば市から町になる基準というのはあるのでしょうか。

#### 事務局

人口が減ったので町になるという基準はございません。

**委員B**

それであれば、生物学的な観点から申し上げますと、壱岐市は 18,000 人もしくは約 10,000 人という人口が実は最適かもしれないという可能性もありうるということでしょうか。

**事務局**

昭和 30 年代になりますが人口約 5 万人の時代もありましたし、今の経済規模やコミュニティを維持するために適正な人口は何人なのか、このあたりも次期総合計画を策定するうえでは必要になってくると思いますので、そういった観点で人口何人を目指すというような目標をつくっていきたいと考えています。

**委員B**

今日の話全部会社に置き換えて考えるとすごく明快だと思いました。ブランド力がなくこのままでは自社のサービスが提供できないので、そのためには外貨を稼がなければいけないと考えると、やらなければいけないことは結構決まってくるような気がします。先ほど、委員 F から意見がありました緊急度は、私もすごく大事であると思います。必要ないものは廃止して、必要があるものだけを重点的に実施していく。本当は結婚してくれて子どもが増えればいいのですが、一足飛びに単純に解決できる問題ではないので、外から多くの人を巻き込んで、壱岐に呼ぶ方法を考えたほうが早いのではと思いました。適正人口と適正な予算規模とどういいますか、おそらくゴール地点のイメージがあると思いますので、そういうのを共有していただけるとありがたいです。この行政サービスを維持するためにはこの人数が必要であると言われたらそのためにどうすべきかと、指標も考えやすいと思いますので、次回そういう数字を教えてくださいましたらうれしいです。

**委員F**

要望を 1 つよろしいでしょうか。委員 B がおっしゃったように、人口減少をいかに食い止めるか、どのようにして人口を増やしていくかという流れになってきていますが、これから人口は減少していくものとして人口が減ったときの市のあり方、例えば市職員数が挙げられますけど、そういったデザインも同時に進めていただけるとうれしいです。総合計画は今後 5 年間の方向性を決めていくものですが、社会全体で 5 年間を見てもものすごい勢いで変化・変容していくので、そういう社会の変化に耐えうる、柔軟に対応できる計画であつてもいいと思います。PDCA サイクルは必要と思いますがどこか余白の部分があるといえますか、現代は不確実性の社会と言われている中で柔軟に対応できるような計画を作っていくのもよろしいのではと思いました。

3-3. 協議事項③

協議事項(8)その他

**事務局**

事務局からその他協議事項で 2 点ございます。まず 1 点目ですが、皆さまにご協議をいただきたいところで、第 3 次計画を策定するときにコアメンバーのワーキンググループというもの

を編成しました。今回も同様に審議会委員の皆さまの中から数名コアメンバーになっていただきまして、ご意見等を伺いながら今後進めていきます計画骨子の策定作業などに関わっていただければと考えています。

先ほど説明しましたが、市の若手職員によるプロジェクトチームにおいて現況課題の取りまとめと解決策の検討を行っております。今後重点プロジェクトの検討なども行っていく予定としておりますので、その中で審議会のコアメンバーの方との意見交換なども実施できればと考えています。コアメンバーの人選でございますけれども、今回事務局のほうで案をご提案させていただきたいと思っております。委員の方のお名前を申し上げますと、コアメンバーは鬼塚委員、平山委員、入江委員、田口委員、高瀬委員、高田委員の6名の方をお願いできればと考えております。委員の皆さまよりご承諾をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

#### 会長代理

事務局より審議会のコアメンバーについて提案がありました。皆様いかがでしょうか。6名の方に就任してもらおうということでよろしいでしょうか。

#### 各委員より反対意見無し

#### 会長代理

皆様ありがとうございます。それでは事務局の提案のとおり進めていただきたいと思いますので、事務局はよろしく願います。

#### 事務局

もう1点ですが今後のスケジュールを説明いたします。策定スケジュールを記した資料を配付していますが、これまでの進捗結果とまた今後の予定を載せています。令和5年度内の審議会については今回が最後です。次回第3回の審議会は、今後の進捗状況にもよりますが、5月の開催を予定しております。詳細な日程は改めて文書にて通知しますので、引き続きご協力をお願いします。先ほど申し上げました審議会のコアメンバーのワーキング会議も改めてご連絡します。

#### 4. 閉会

#### 事務局

本日は長時間にわたりましてご審議いただきまして誠にありがとうございます。今後も引き続きお手数をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。これをもちまして第2回壱岐市総合計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。